

DAIFUKU

Automation that Inspires

株式会社ダイフク <6383>

2023年3月期

(2022年4月1日 ~ 2023年3月31日)

決算説明資料

2023年5月12日



業績ハイライト p. 2

業績見通し p. 18

トピックス p. 22

目次へ

業績ハイライト



（億円）

	2022/3期	2023/3期	対前年 増減額	対前年 増減率
受注高	5,890	7,374	+1,484	+25.2%
売上高	5,122	6,019	+896	+17.5%
営業利益	502	588	+86	+17.1%
営業利益率	9.8%	9.8%	—	—
経常利益	512	597	+85	+16.6%
親会社株主に帰属する 当期純利益	358	412	+53	+15.0%
包括利益	463	535	+71	+15.5%
1株当たり当期純利益 ^{*1}	94.90円	109.11円	+14.20円	—
ROIC ^{*2}	11.0%	12.6%	+1.6pt	
WACC	5.6%	7.3%	+1.7pt	

✓ 受注高、売上高、利益ともに過去最高を記録。

（参考）

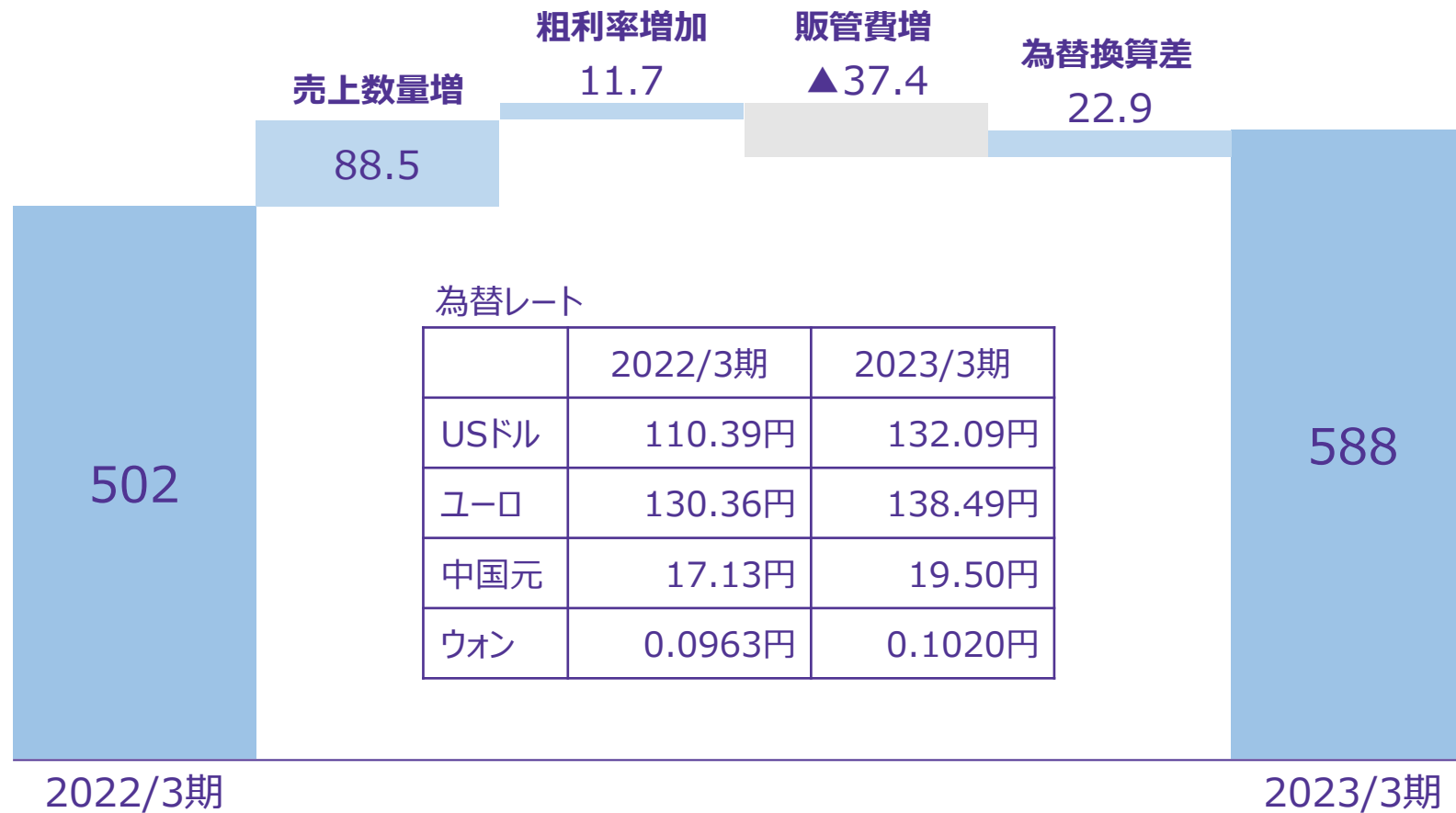
為替の影響により、前期比で受注高は約713億円、売上高は約415億円、営業利益は約22億円、それぞれ増加。

*1 2023年4月1日付で普通株式1株につき3株の割合で株式分割を実施。2022/3期の期首に株式分割が実施されたと仮定し算定。

*2 ROIC =
(営業利益×(1－実効税率))
÷(株主資本＋有利子負債)

(億円)

(参考) 為替換算差
受注高: +713億円
売上高: +415億円



(億円)

	受注高 (外部顧客からの受注高)			売上高 (外部顧客への売上高)			セグメント利益 (親会社株主に帰属する当期純利益)		
	2022/3期	2023/3期	増減額	2022/3期	2023/3期	増減額	2022/3期	2023/3期	増減額
ダイフク	2,624	2,931	+306	2,250	2,388	+137	286	340	+54
コンテック	196	192	▲3	157	186	+28	12	9	▲2
DNAHC _{※1}	1,351	2,110	+758	1,404	1,587	+182	75	61	▲13
CFI _{※2}	367	481	+113	286	426	+140	20	29	+8
その他	1,349	1,658	+308	1,048	1,409	+360	37	56	+19
連結調整等	-	-	-	▲25	20	+46	▲73	▲85	▲12
合計 (調整後)	5,890	7,374	+1,484	5,122	6,019	+896	358	412	+53

✓ ダイフク：
受注、売上ともに全領域で順調に推移。

✓ DNAHC：
受注は全領域で伸長。
売上は前期末受注残高をベースに順調に推移。

✓ CFI：
受注、売上ともに半導体メーカーの旺盛な投資により増加。

※1 DNAHC = Daifuku North America Holding Company

※2 CFI = Clean Factomation, Inc.

連結貸借対照表

(億円)

	2022年3月末	2023年3月末	増減額
流動資産	3,813	4,331	+518
現金及び預金	1,187	1,027	▲160
売上債権	2,089	2,500	+411
棚卸資産	412	660	+248
その他	123	142	+18
固定資産	1,020	1,184	+163
有形固定資産	552	650	+98
無形固定資産	107	114	+7
のれん	39	38	▲1
その他	67	76	+8
投資その他の資産	360	419	+58
資産合計	4,833	5,515	+682

	2022年3月末	2023年3月末	増減額
流動負債	1,736	2,028	+291
仕入債務	761	940	+179
短期借入金	224	103	▲120
その他	750	983	+233
固定負債	176	164	▲12
長期借入金	39	11	▲28
その他	137	153	+16
負債合計	1,912	2,192	+279
株主資本	2,792	3,082	+289
資本金	318	318	-
利益剰余金	2,276	2,568	+292
その他	197	194	▲2
その他の包括利益累計額	115	237	+122
非支配株主持分	12	2	▲9
純資産合計	2,920	3,323	+402
負債純資産合計	4,833	5,515	+682

✓ **総資産：682億円増**
 (主な要因)
 増加：売上債権 411億円
 棚卸資産 248億円
 減少：現金及び預金 ▲160億円

✓ **負債：279億円増**
 (主な要因)
 増加：仕入債務 179億円
 契約負債 232億円
 減少：長・短借入金(合算) ▲148億円

✓ **純資産：402億円増**
 (主な要因)
 増加：利益剰余金 292億円
 為替換算調整勘定 116億円

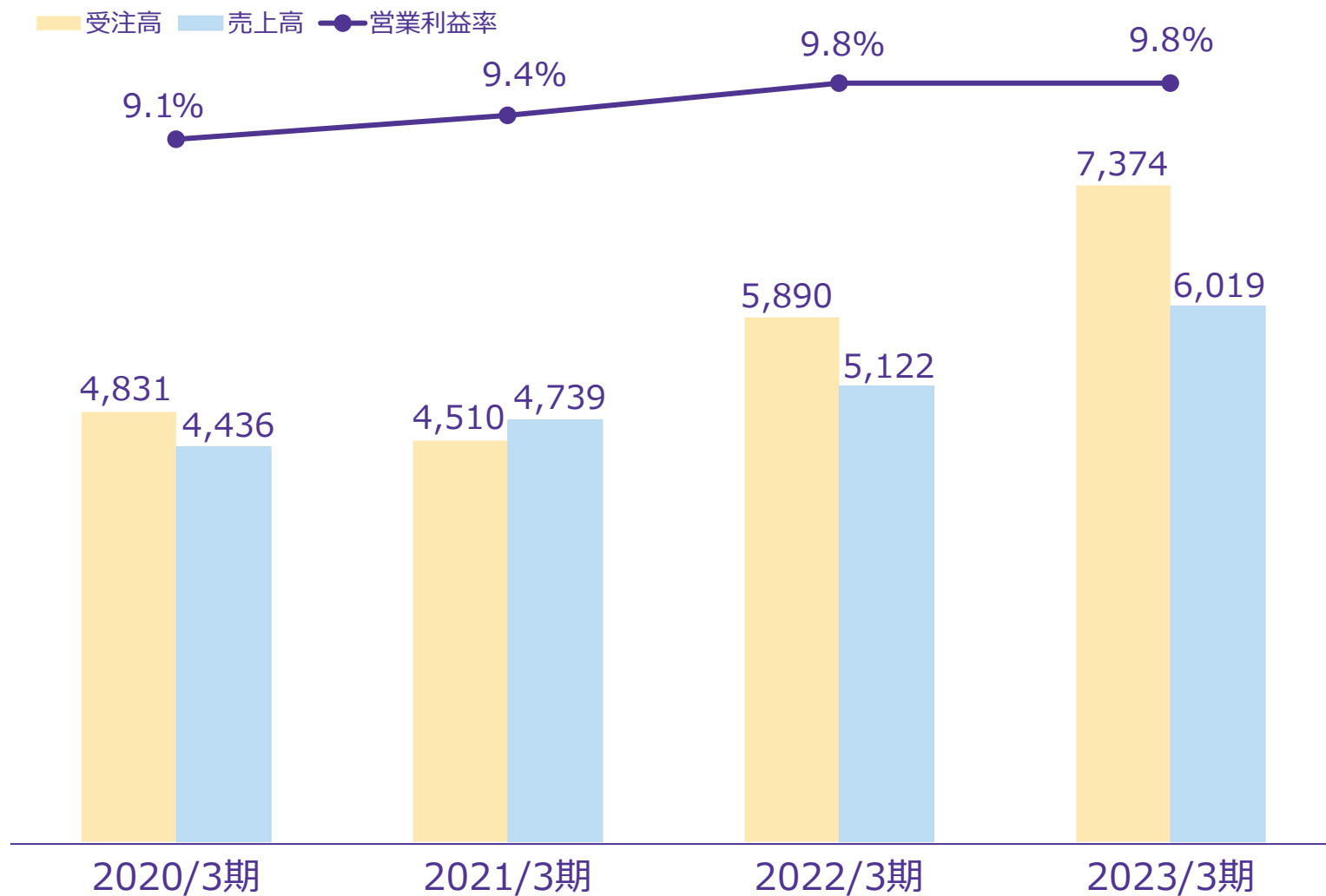
連結キャッシュ・フロー計算書

(億円)

	2022/3期	2023/3期	増減額
営業活動によるキャッシュ・フロー	566	200	▲366
投資活動によるキャッシュ・フロー	▲98	▲118	▲20
フリー・キャッシュ・フロー	468	81	▲387
財務活動によるキャッシュ・フロー	▲275	▲301	▲26
現金及び現金同等物に係る換算差額	48	57	+8
現金及び現金同等物の増減額	241	▲162	▲404
現金及び現金同等物の期首残高	940	1,186	+245
連結の範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増減額 (▲は減少)	4	-	▲4
現金及び現金同等物の期末残高	1,186	1,023	▲162

- ✓ 営業CF : 200億円収入超過
(主な要因)
税金等調整前当期純利益 550億円
売上債権及び契約資産の増加 ▲316億円
- ✓ 投資CF : 118億円支出超過
(主な要因)
固定資産の取得による支出 ▲137億円
- ✓ 財務CF : 301億円支出超過
(主な要因)
配当金の支払額 ▲119億円
長期借入金の返済 ▲159億円

(億円)



(億円)

地域	国名	2020/3期		2021/3期		2022/3期		2023/3期		対前年 増減額
		受注高	構成比	受注高	構成比	受注高	構成比	受注高	構成比	
日本		1,700	35.2%	1,525	33.8%	2,205	37.4%	2,314	31.4%	+109
海外		3,131	64.8%	2,985	66.2%	3,685	62.6%	5,060	68.6%	+1,374
	北米	1,405	29.1%	1,205	26.7%	1,311	22.3%	2,005	27.2%	+693
	アジア	1,521	31.5%	1,446	32.1%	2,046	34.8%	2,553	34.6%	+506
	中国	583	12.1%	552	12.2%	631	10.7%	942	12.8%	+310
	韓国	392	8.1%	450	10.0%	578	9.8%	607	8.2%	+29
	台湾	424	8.8%	340	7.6%	565	9.6%	684	9.3%	+118
	その他	120	2.5%	103	2.3%	271	4.6%	318	4.3%	+47
	欧州	94	2.0%	162	3.6%	176	3.0%	156	2.1%	▲19
	中南米	9	0.2%	26	0.6%	30	0.5%	126	1.7%	+96
	その他	99	2.0%	145	3.2%	120	2.0%	217	3.0%	+97
合計		4,831	100.0%	4,510	100.0%	5,890	100.0%	7,374	100.0%	+1,484

✓ 北米
全事業領域で伸長。特に自動車生産ライン向け、空港向けが好調。

✓ アジア
半導体・液晶生産ライン向けがけん引。

仕向地別売上高

(億円)

地域	国名	2020/3期		2021/3期		2022/3期		2023/3期		対前年 増減額
		売上高	構成比	売上高	構成比	売上高	構成比	売上高	構成比	
日本		1,550	34.9%	1,639	34.6%	1,827	35.5%	1,972	32.9%	+144
海外		2,886	65.1%	3,099	65.4%	3,320	64.5%	4,025	67.1%	+704
	北米	996	22.5%	1,389	29.3%	1,367	26.6%	1,521	25.4%	+154
	アジア	1,634	36.8%	1,440	30.4%	1,643	31.8%	2,102	35.1%	+459
	中国	702	15.8%	595	12.6%	572	11.1%	608	10.2%	+36
	韓国	435	9.8%	433	9.2%	465	9.0%	600	10.0%	+135
	台湾	371	8.4%	305	6.5%	490	9.5%	587	9.8%	+96
	その他	125	2.8%	104	2.1%	114	2.2%	305	5.1%	+190
	欧州	92	2.1%	133	2.8%	158	3.1%	172	2.9%	+14
	中南米	62	1.4%	41	0.9%	52	1.0%	62	1.0%	+10
	その他	99	2.3%	93	2.0%	99	2.0%	166	2.7%	+66
小計		—	—	—	—	5,148	100.0%	5,998	100.0%	+849
連結調整等		—	—	—	—	▲25	—	20	—	+46
合計		4,436	100.0%	4,739	100.0%	5,122	—	6,019	—	+896

✓ 日本、アジア
半導体・液晶生産ライン向けがけん引。

✓ 北米
前期未受注残高をベースに順調に推移。

(億円)

業種	2020/3期		2021/3期		2022/3期		2023/3期		対前年 増減額
	受注高	構成比	受注高	構成比	受注高	構成比	受注高	構成比	
自動車及び 自動車部品	899	18.6%	490	10.9%	575	9.8%	897	12.2%	+322
エレクトロニクス	1,462	30.3%	1,295	28.7%	2,334	39.6%	2,714	36.8%	+379
商業及び小売業	945	19.6%	1,363	30.2%	1,569	26.6%	1,879	25.5%	+310
運輸・倉庫	274	5.7%	233	5.2%	306	5.2%	288	3.9%	▲18
機械	111	2.3%	120	2.7%	80	1.4%	115	1.6%	+35
化学・薬品	184	3.8%	139	3.1%	222	3.8%	330	4.5%	+108
食品	170	3.5%	173	3.8%	161	2.7%	172	2.3%	+10
鉄鋼・非鉄金属	54	1.1%	37	0.8%	52	0.9%	54	0.7%	+2
精密機器・ 印刷・事務機	76	1.6%	61	1.4%	54	0.9%	61	0.8%	+6
空港	476	9.9%	460	10.2%	332	5.7%	623	8.4%	+290
その他	175	3.6%	133	3.0%	200	3.4%	237	3.3%	+36
合計	4,831	100.0%	4,510	100.0%	5,890	100.0%	7,374	100.0%	+1,484

✓ 自動車及び自動車部品、空港
北米が大きく伸長。

✓ エレクトロニクス
半導体メーカーの設備投資がアジアで
継続。

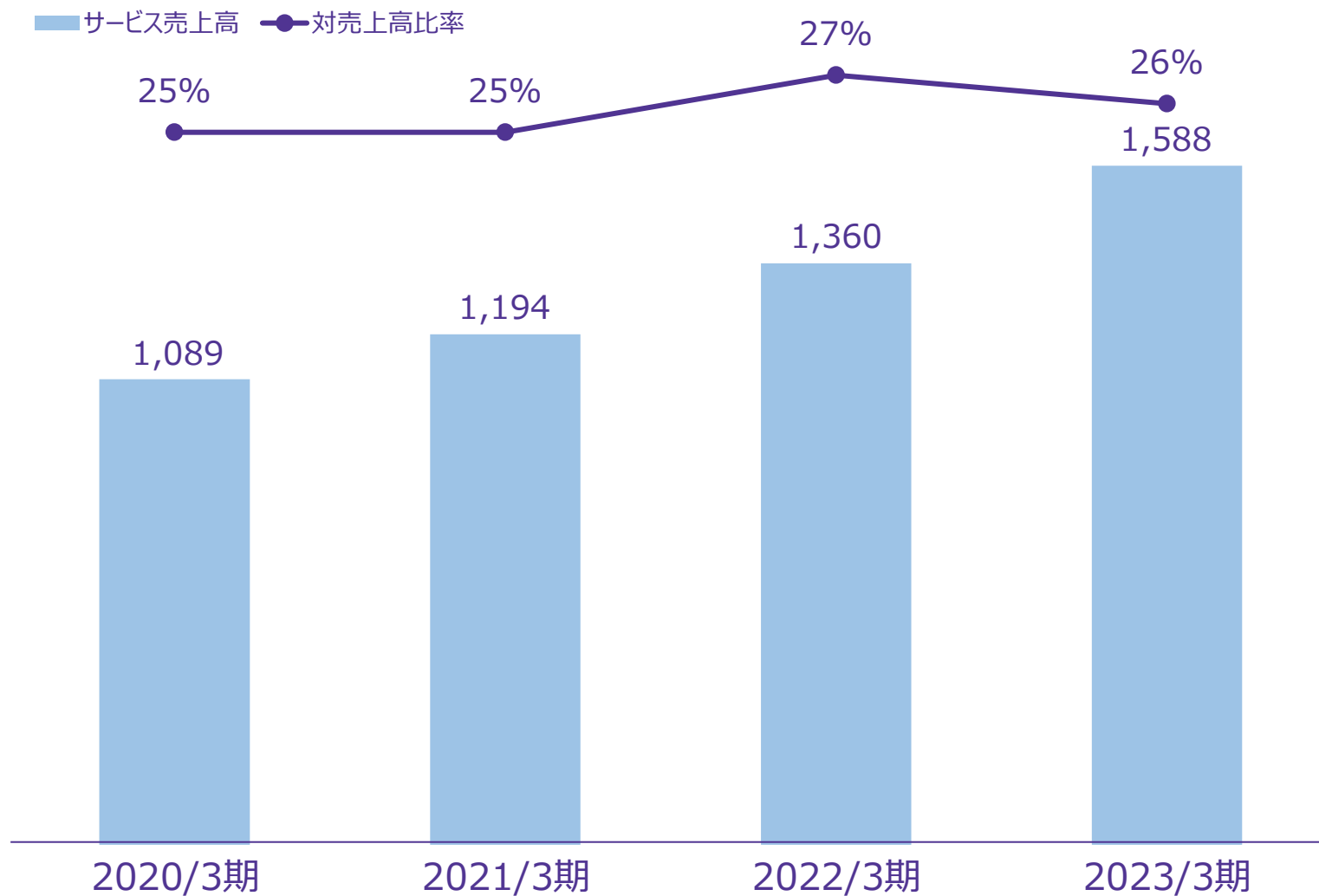
(億円)

業種	2020/3期		2021/3期		2022/3期		2023/3期		対前年 増減額
	売上高	構成比	売上高	構成比	売上高	構成比	売上高	構成比	
自動車及び 自動車部品	684	15.4%	801	16.9%	590	11.5%	654	10.9%	+64
エレクトロニクス	1,441	32.5%	1,370	28.9%	1,513	29.4%	2,157	36.0%	+643
商業及び小売業	862	19.4%	1,155	24.4%	1,551	30.1%	1,609	26.8%	+57
運輸・倉庫	285	6.4%	235	5.0%	328	6.4%	304	5.1%	▲24
機械	135	3.1%	112	2.4%	115	2.2%	103	1.7%	▲12
化学・薬品	153	3.4%	183	3.9%	176	3.4%	246	4.1%	+70
食品	131	3.0%	177	3.7%	200	3.9%	157	2.6%	▲43
鉄鋼・非鉄金属	53	1.2%	44	0.9%	35	0.7%	48	0.8%	+12
精密機器・ 印刷・事務機	114	2.6%	87	1.8%	62	1.2%	64	1.1%	+1
空港	419	9.5%	412	8.7%	437	8.5%	461	7.7%	+24
その他	153	3.5%	158	3.4%	136	2.7%	190	3.2%	+54
小計	4,436	100.0%	4,739	100.0%	5,148	100.0%	5,998	100.0%	+849
連結調整等	-	-	-	-	▲25	-	20	-	+46
合計	4,436	-	4,739	-	5,122	-	6,019	-	+896

✓ エレクトロニクス

半導体メーカーの設備投資がアジアで
継続。

(億円)



✓ 対前年増減額 +228億円
(増減率 +16.8%)

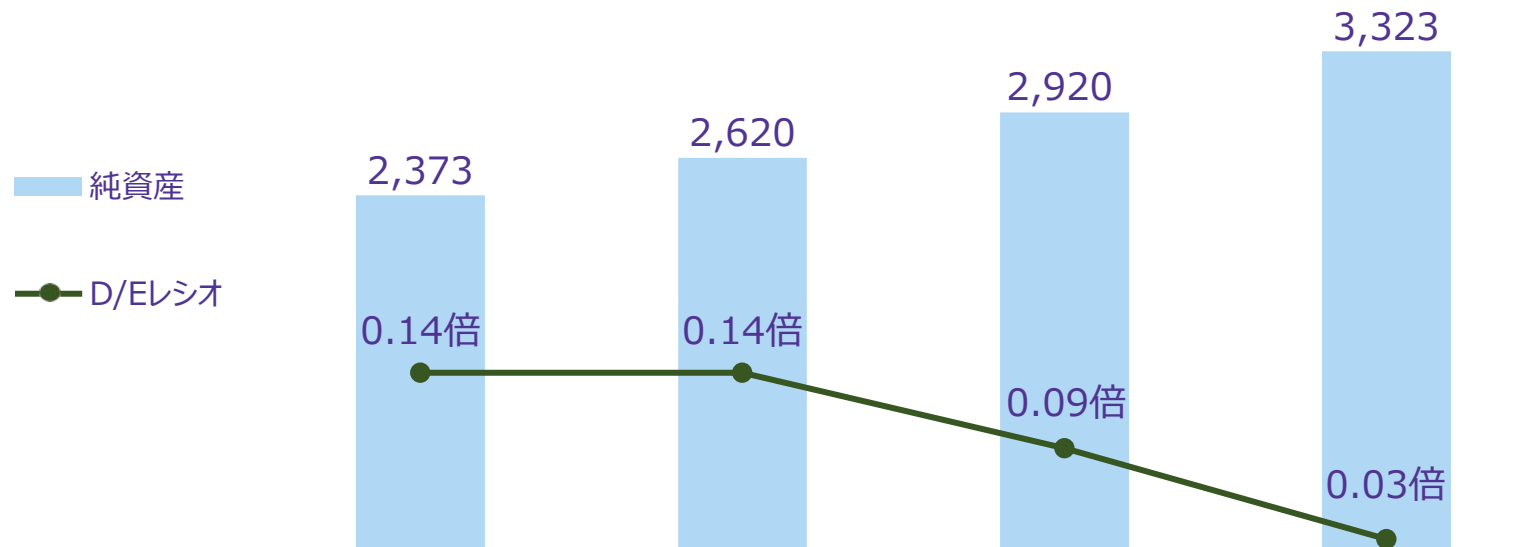
有利子負債、固定費、従業員の状態（連結）

(億円)

	2020/3期	2021/3期	2022/3期	2023/3期	対前年 増減額
短期	117	155	224	103	▲120
長期	216	196	39	11	▲28
有利子負債合計	334	351	263	114	▲148
D/Eレシオ※	0.14倍	0.14倍	0.09倍	0.03倍	—
固定費	1,176	1,174	1,197	1,386	+188
人件費	802	831	881	1,004	+123
期末従業員数	10,863人	11,697人	12,436人	13,020人	+584人
内、海外	7,312人	8,045人	8,643人	9,059人	+416人

※ D/Eレシオ=有利子負債÷自己資本（期末）

(億円)



✓ 純資産：順調な伸び

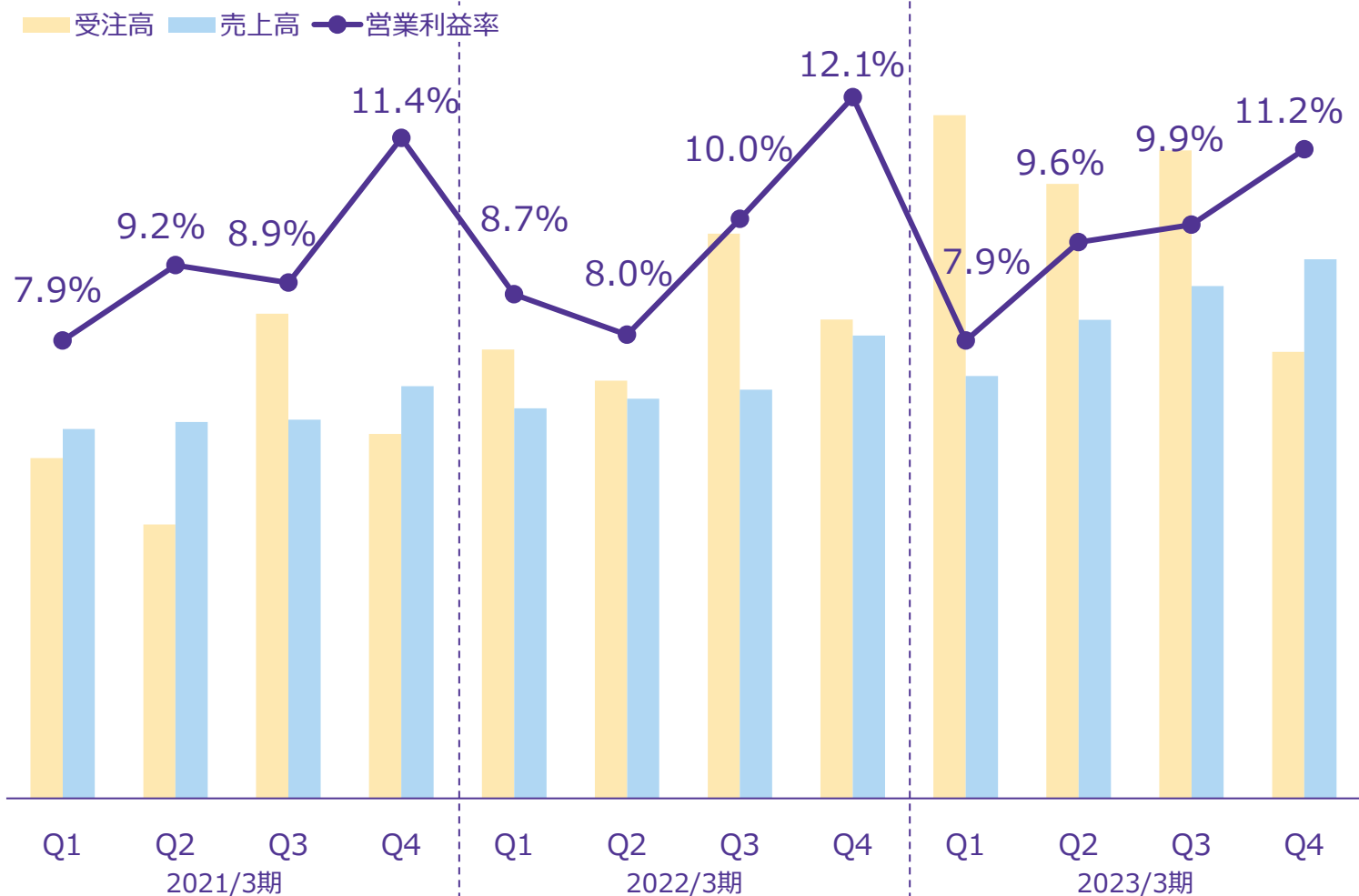
	2020/3期	2021/3期	2022/3期	2023/3期
ROE※	12.4%	13.2%	13.1%	13.2%
①売上高当期純利益率	6.32%	6.83%	7.00%	6.85%
②総資産回転率	1.08回	1.11回	1.10回	1.16回
③財務レバレッジ	1.76倍	1.73倍	1.66倍	1.66倍

✓ ROE：中計目標の「10%以上」を維持

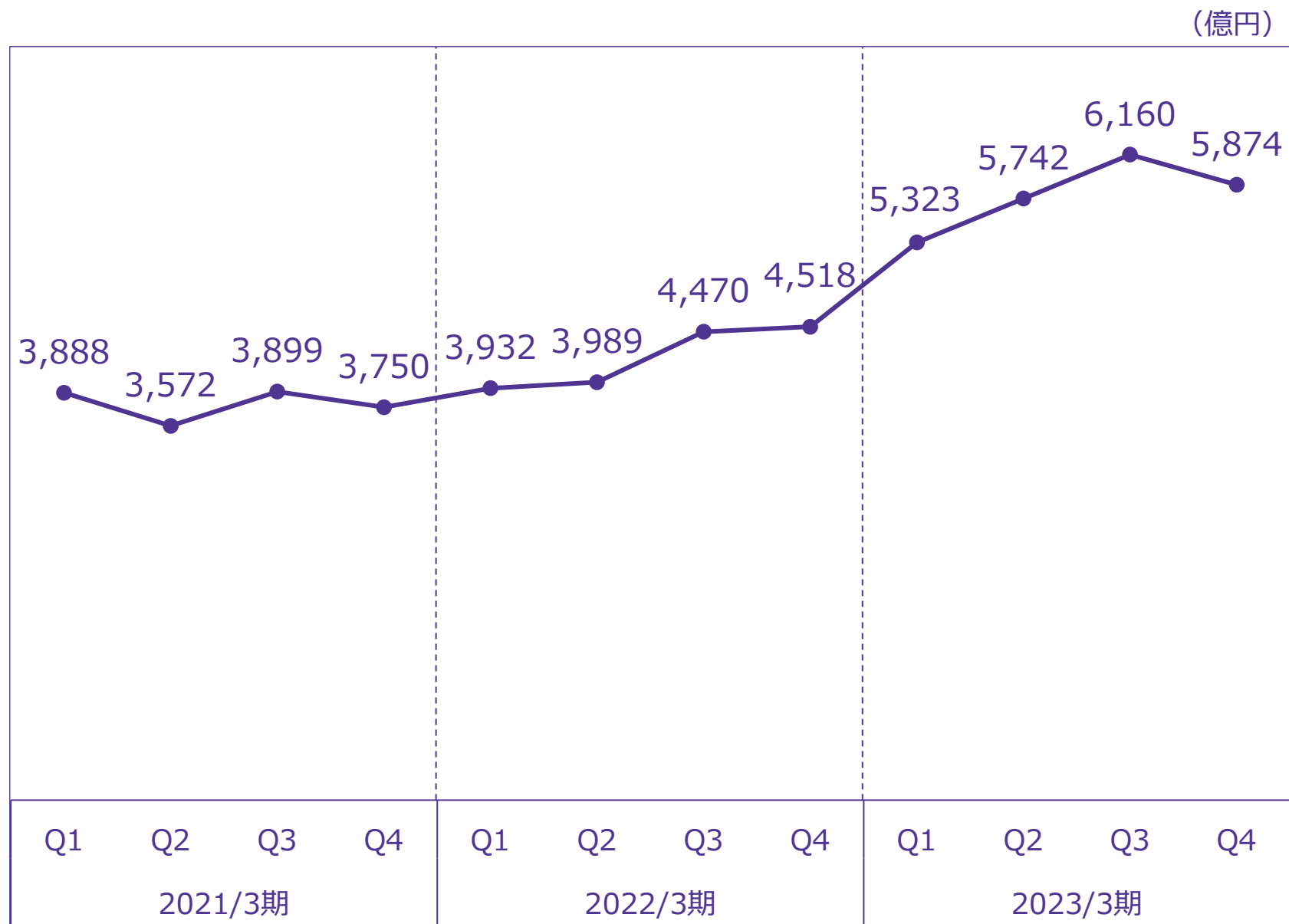
※ ROE = 当期純利益 ÷ 自己資本 (期首・期末平均) × 100

$$= \text{①売上高当期純利益率} \times \text{②総資産回転率} \times \text{③財務レバレッジ} = \frac{\text{当期純利益}}{\text{売上高}} \times \frac{\text{売上高}}{\text{総資産}} \times \frac{\text{総資産}}{\text{自己資本}}$$

(億円)



	2021/3期				2022/3期				2023/3期			
	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4
受注高	1,049	844	1,494	1,123	1,384	1,288	1,741	1,476	2,106	1,894	1,997	1,376
売上高	1,139	1,160	1,167	1,271	1,202	1,232	1,260	1,427	1,302	1,475	1,579	1,662
営業利益額	90	106	103	144	105	98	126	172	102	141	157	186



目次へ

業績見通し

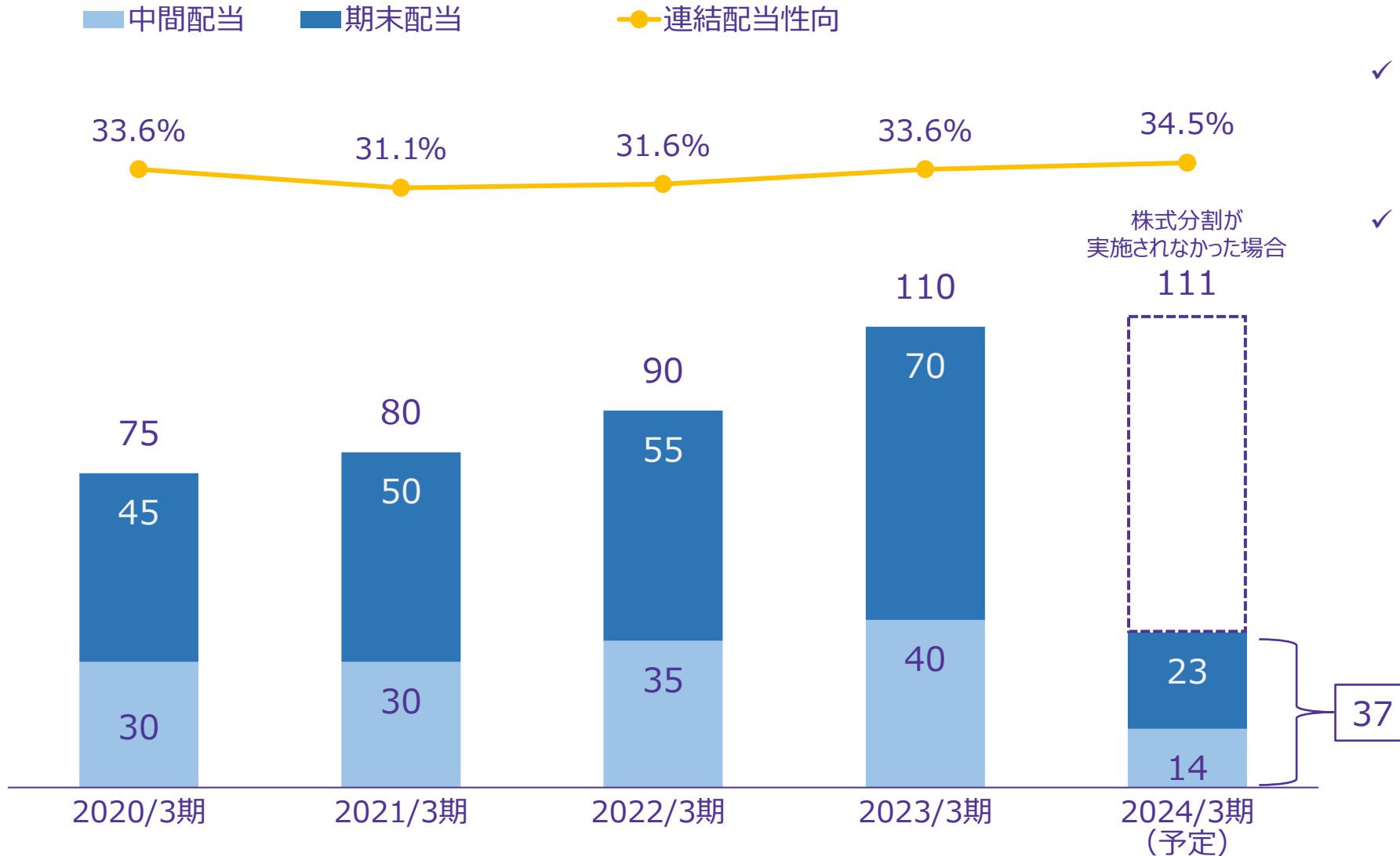


2024年3月期 業績予想（連結）

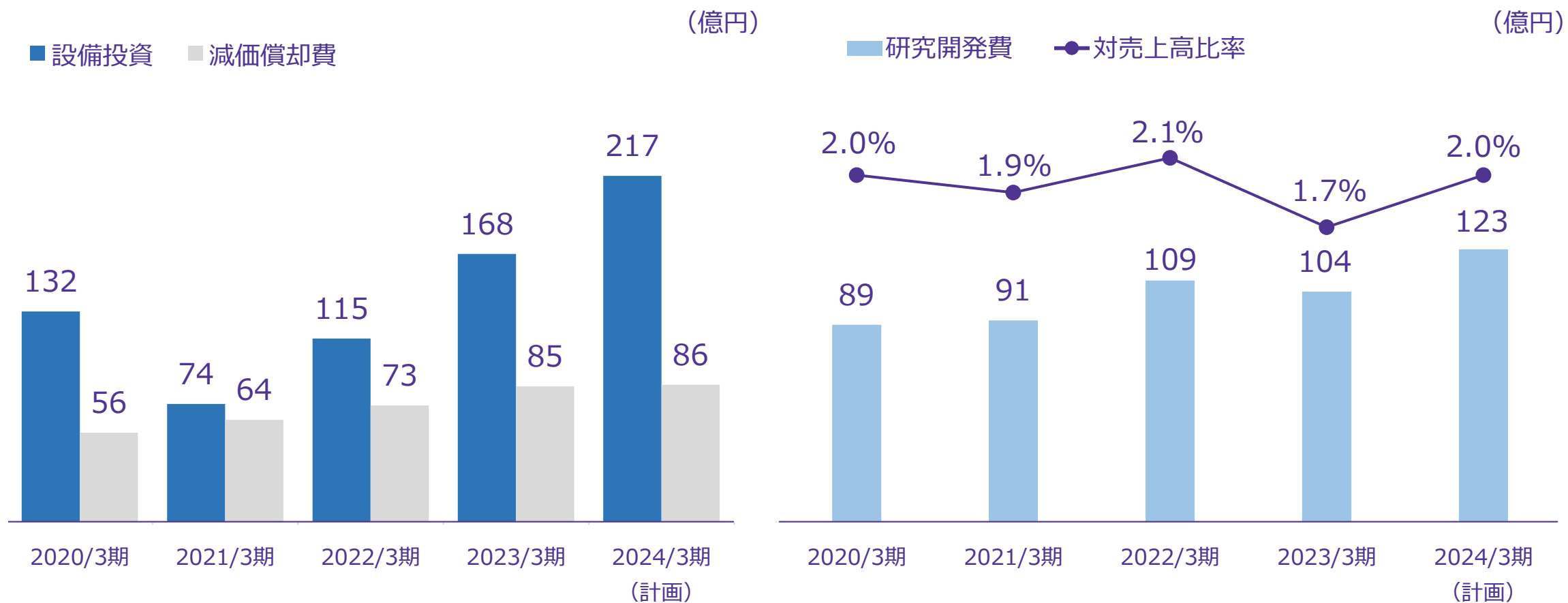
	2023/3期 上期	2024/3期			2023/3期 通期	2024/3期		
		上期予想	増減額	増減率		通期予想	増減額	増減率
受注高	4,001	3,250	▲751	▲18.8%	7,374	6,300	▲1,074	▲14.6%
売上高	2,777	2,850	+72	+2.6%	6,019	6,050	+30	+0.5%
営業利益	244	230	▲14	▲6.0%	588	545	▲43	▲7.4%
営業利益率	8.8%	8.1%	▲0.7pt	—	9.8%	9.0%	▲0.8pt	—
経常利益	248	235	▲13	▲5.6%	597	555	▲42	▲7.1%
親会社株主に帰属する 当期純利益	170	165	▲5	▲3.0%	412	405	▲7	▲1.8%
1株当たり当期純利益*	45.00円	43.64円	▲1.36円	—	109.11円	107.13円	▲1.98円	—

* 2023年4月1日付で普通株式1株につき3株の割合で株式分割を実施。2023/3期の期首に株式分割が実施されたと仮定し算定。

(円)



- ✓ 2023/3期の期末配当は期初の予定から5円増配し70円に。
- ✓ 2023年4月1日付で普通株式1株につき3株の割合で株式分割を実施。2024/3期の配当金の予定額のみ株式分割の影響を考慮し算定。



目次へ

トピックス






2021年2月に公表した「ダイフク環境ビジョン2050」を改定しました。2050年に「マテリアルハンドリングシステムが環境負荷ゼロで動く世界を実現します。」と掲げ、当社グループが目指す姿をより明確にしたものです。従来のビジョンに自然資本への視点を加えた上で「気候変動への対応」「資源循環の促進」「自然との共生」を重点領域とし、2030年の目標も合わせて見直しました。

CO₂排出量削減目標は、パリ協定が求める1.5℃目標の水準に設定し「SBT（Science Based Targets）イニシアティブ」に目標を申請中です。2023年度中のSBT認定取得を目指しています。

詳細：サステナビリティサイト www.daifuku.com/jp/sustainability/environment/management

2030年環境目標

重点領域	KPI（実績評価指標）	目標
 気候変動への対応	自社CO ₂ 排出量（スコープ1+2）	50.4%削減 （2018年度比）
	購入した製品・サービスに伴うCO ₂ 排出量（スコープ3 カテゴリ1）	30%削減 *1（2018年度比）
	販売した製品の使用に伴うCO ₂ 排出量（スコープ3 カテゴリ11）	
 資源循環の促進	廃棄物の埋立率	1%未満
	水使用量売上高原単位*2	30%削減 （2018年度比）
 自然との共生	主要拠点*3における生物多様性保全活動実施率	100%
	サステナビリティアクション*4年間延べ参加者数	3万人

*1 スコープ3のカテゴリ1およびカテゴリ11合わせたの目標

*2 水使用量（千m³）／売上高（億円）

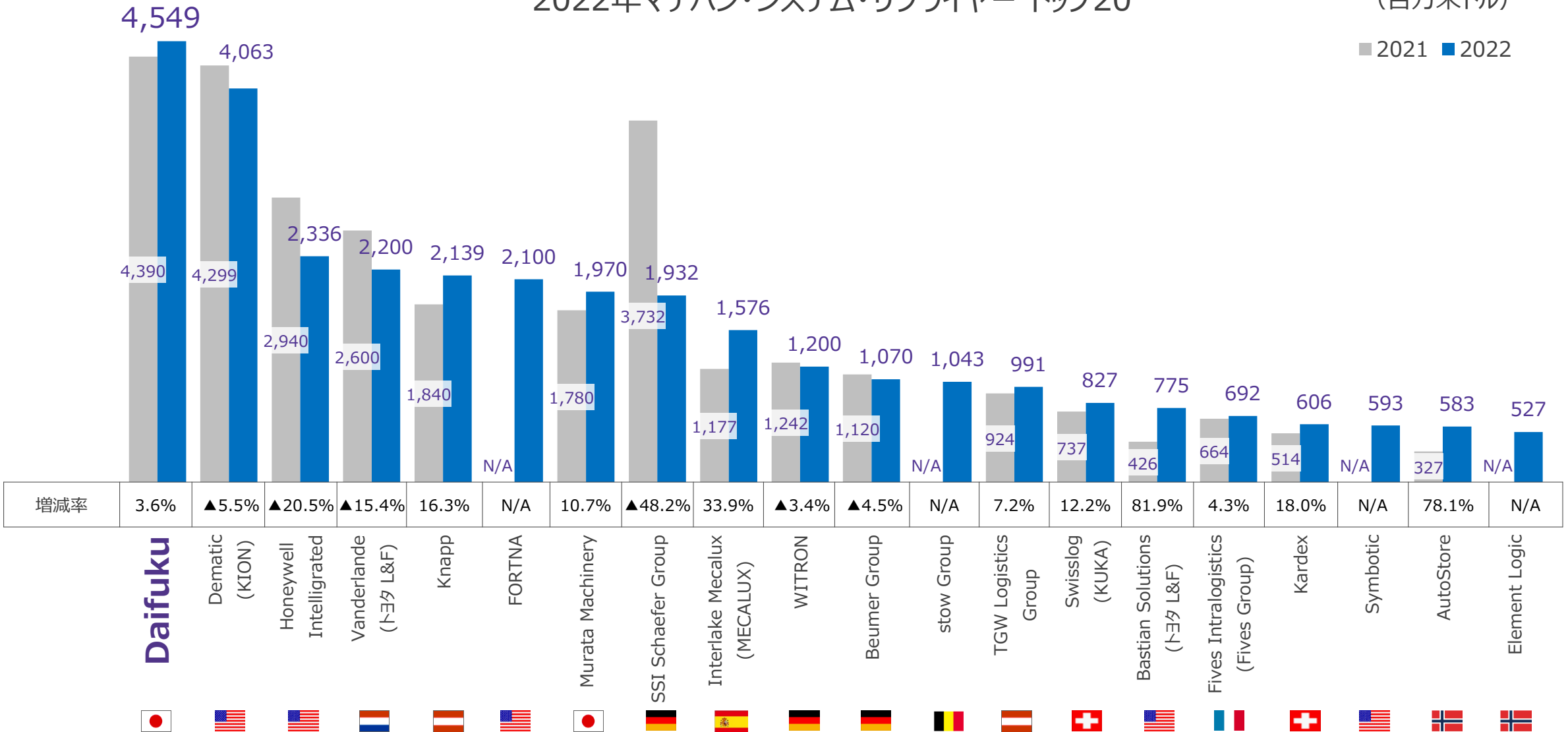
*3 従業員数100人以上の拠点

*4 サステナビリティに関する啓発・教育のための当社独自のプログラム

2022年マテハン・システム・サプライヤー トップ20

(百万米ドル)

■ 2021 ■ 2022



DAIFUKU

Automation that Inspires

将来の見通しに関する注意事項

本資料に記載されている将来の業績に関する目標、信念、計画等は、過去の事実ではなく、最新の情報から判断した経営陣の想定や信念に基づく事業見通しであり、潜在的なリスクや不確定要素を含んでいます。実際の業績は、さまざまな重要要素により、記載された見通しと大きく異なる結果となりうることをご承知おきください。実際の業績に影響を与える重要要素としては、1) 当社グループの経営環境における消費者動向および経済情勢、2) 米ドルその他の通貨建ての売上・資産・負債に対する円為替レートの影響、3) コスト上昇や販売の抑制につながる安全その他に関する法令等の規制強化、4) 災害・戦争・テロ・ストライキ・疾病等の影響などが含まれます。なお、当社グループの業績に影響を与える要素は、これらに限定されるものではありません。